

## ==子どもに贈ることば==

クリスマスの飾りや街を彩るイルミネーションが美しい季節となりました。年の瀬に向けて慌ただしい毎日だと思いますが、子育てに仕事に毎日本当にお疲れさまです。今年も一年よく頑張ったと、自分を褒めてあげましょう。

さて、プレゼントの行きかうこれからの季節ですが、もしお子さんにカードのプレゼントをするとしたら、どんな言葉を贈りますか？

「いつも元気をくれてありがとう」（感謝）

「がんばっている〇〇ちゃんはすごいなと思います」（称賛）

「これからもママを助けてね」（願い）

私ならバタバタとこんな感じで、最後におまけで自分の希望まで書いてしまいそうになりますが、子どもが寝た後に温かいお茶でもいれて、子どもの姿を思い浮かべて書いてみれば、きっと違う言葉が出てくるでしょう。

何か言葉を贈るためには、我が子をよく見なければなりません。

何が好きで何が嫌いか、何に一生懸命でどんな時にやる気をなくすか、最近悔しいと感じたことは何か、嬉しいと感じたことは何か、一番の笑顔を自分に見せてくれた時はどんな時だったか、一番の訴えを自分にした時はどんな時だったか。我が子が自分にしてほしい一番のことは何か。自分にしてほしくない一番のことは何か。今目の前にいる我が子の目を見てみましょう。

親が伝えたいことを伝えることは比較的簡単ですが、子どもが親に言ってほしい事がそれと同じとは限りません。我が子の願いは何でしょうか。

<星の王子様（サン=テグジュペリ）>の冒頭にこんな言葉があります。

『大人だって はじめはみんな 子どもだったのだから。

（でもそれを忘れずにいる人は ほとんどいない）』

自分の小さかった頃の思い出とともに、親だから伝えられる言葉をお子さんに伝えてほしいと思います。